

医師の声

木沢記念病院
副院長・小児科部長

岡本 博之さん



絵本にかかわるこの事業に、小児科医の立場からお話いたします。結論から言えばとても良いことだと思います。

赤ちゃんの無垢(むく)な心が、かかわり合う一つの出会いとして

の絵本。絵本を通して、そっと母・子が寄り添って、豊かな楽しい「時」を共有することが何より大切です。

時計の針の動きのかたわらにそっと息づく、心が通じ合う時間。その「時」の中で、あなたは、時計の針を忘れて赤ちゃんとお過ごしのです。

赤ちゃんの喜びの鼓動、表情を感じながら、読む声に抑揚をつけ、絵本のページは時に早く、時にゆっくりとめくりましょう。

そのころよい輝きに満ちた体験は、赤ちゃんとお母さんの心に大いなる宝の糧となって残るでしょう。

その感動はさらに、あなたや赤ちゃんを支える人々、ほかのご家族と共有されてさらに広がります。

幸せで豊かな乳幼児時代への第一歩です。この新しい事業が、皆さまに受け入れられることを祈念いたします。

なぜ、赤ちゃんなの？

まだ字を読むことや、言葉の意味を理解することができない赤ちゃんでも、絵をじっと見つめたり、指を差したり、読んでくれる人を見つめてその声に耳を澄ませたりと、赤ちゃんの絵本の楽しみ方があります。

絵本を「読む」のではなく、大好きな人と一緒に、その楽しいひとときを「分かち合う」……。

ブックスタートは、そんなひとときを、できるだけ早く届けたいからです。

いつ、ぶいど、もらえるの？

これまで、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」として、市の研修を受けた「こんにちは赤ちゃん訪問員さん」が、生後2カ月ごろの赤ちゃんがいる家庭に訪問し、赤ちゃんの発育状態や子育てにおける心配ごと相談に乗るなどの活動をしてきました。

その訪問活動の内容に加え、6月からは、絵本をプレゼントしています。

プレゼントの対象者は、今年の4月以降に生まれた市内在住のすべての赤ちゃんです。

どんな絵本がもらえるの？

なお、都合で赤ちゃん訪問ができなかった場合などは、保健センターで行っている赤ちゃんの生後4カ月健診の機会や図書館で手渡せるようにしています。

絵本は、次の3冊のうち1冊を選んでもらいプレゼントしています。

【いないいないばあ】いろいろな動物たちが「いないいない ばあ」をしてくれます。赤ちゃんが初めて出会うのにふさわしい1冊です。

【びよん】飛び上がるのが大好きな動物たちと一緒に「びよん」と、思わず体全体を動かしたくなる絵本。ページをめくるたびに、驚きと喜びが赤ちゃんを魅了します。

【じゃあじゃあびりびり】じどうしゃ・ぶーぶー、いぬ・わんわん、みず・じゃあじゃあなど、子どもの好きな擬音語や動物の鳴き声の繰り返し絵本です。

赤ちゃんに絵本を読むときの
図書館からのアドバイス

- 語りかけるように、ゆっくりはっきりと
テレビなどは消して、お父さんお母さんが自分の声でゆっくりと、抑揚をつけて語りかけるように読むと良いでしょう。最初はしっかりと聞けなくても、焦らず、赤ちゃんとの心の交流を楽しんでください。
- 赤ちゃんが喜ぶ本を、読む人も楽しんで
興味がないものは無理強いせずに、赤ちゃんが喜ぶ絵本を何度でも読むのも良いでしょう。読む人自身も楽しそうに読むと良いでしょう。
- わが家流の楽しみ方
こう読まなければならないと固く考えないで、わが家の楽しみ方を発見すると、さらに楽しくなるでしょう。

実際に絵本を受け取った保護者の声

- ◇かわいい絵ときれいな色使いの絵本をいただき、とてもうれしいです。これを機に、子どもとの触れ合いをこれまで以上に大切にしていきたいと思います。
- ◇お兄ちゃんも絵本が気に入って毎日読んでいます。
- ◇子どもが好んで読む本の目安が分かり、こういう活動があり、助かります。
- ◇まだ、生後2カ月ですが、何回か読んであげたら、絵を見て驚いた表情を見せてくれました。これからも、どんどん読んであげたいと思いました。
- ◇初めての子で、生まれたら絵本を読んであげようと思っていました。今回、訪問員さんから読み方のポイントなどを聞くことができ、とても参考になりました。わたしにとって、いいタイミングで事業がスタートし、たいへんありがたいです。